

いざ往かん!

太田東高校キャリア教育部

2020.9.8(火)発行 No.14

東京の大学を知ろう!(I)

~シリーズ:大学について知ろう(その10)~

ところで、東京にある国公立大学をすべて言えますか? いくつあるかという、全部で12。まず名前の中に「東京」が入っている大学が9つあります。**東京大学**はみんな知っているとして、JR御茶ノ水駅近くの**東京(1)大学**、夏目三久や光浦靖子の出身校として有名な府中市にある**東京(2)大学**、2003年に東京水産大と東京商船大が合体してできた**東京(3)大学**、小金井市にある教育学部だけの**東京(4)大学**、美術学部と音楽学部で構成される上野キャンパスが中心の**東京(5)大学**、目黒区大岡山(田園調布や自由が丘の近く)という高級住宅街にあり理系みの難関大である**東京(6)大学**、工学部(小金井市)と農学部(府中市)にキャンパスが分かれている**東京(7)大学**、以上8つは国立大学で、あと唯一の公立大学である**東京(8)大学**、の計9大学。そして名前に「東京」が付いていない国立大学が3つ…すなわち、国立大としては2つしかない女子大のうちの1つで秋篠宮のご長男である悠仁さまが附属中に通っている**(9)大学**、国立市(これを「こくりつし」と読むと相当恥ずかしい)にあり法・経・商・社会の文系4学部で構成される難関大の**(10)大学**、そしてもう1つが今回紹介する**電気通信大学**。

こうやって見てゆくと、電気通信大学って地味ですよ。名前で損をしているような気がします。国立大学じゃないみたいだし、東京にあることを知らない高校生の方が多んじゃないかなと思います。だから入試難易ランキングでも、工学系では千葉大・埼玉大・東京農工大・金沢大よりも下で、群馬大・信州大・宇都宮大よりもちょっとだけ上。逆に言えば、地味だからこそオイシイ! 本高の諸君も頑張れば手が届くところにある東京の国立大学なのです…。

※上記の()の答… 1. 埼玉大 2. 外国語大 3. 筑波大 4. 法政大 5. 神奈川大 6. 中央大 7. 工業大 8. 国公立大

以下の文章は**6年前(2014年)**に私が電気通信大の説明会に行ったときのことを書いたものです。今年も東京になかなか行くことができないので、その雰囲気味わってくださいな。

The University of Electro-Communications

電気通信大学(UEC)に行ってきました…

電通大は新宿から15分の調布駅にある!

さて、電気通信大はいったい東京のどこにあるのか? 実は調布市にあるのです。「調布市ってどこ?」という声がたくさん聞こえてきそうですが、新宿駅から西へ行く京王線沿いです。特急や準急に乗ると(特急料金はかかりませんが)15分で調布駅に着きます。実は都立大、一橋大、東京外大などの国公立大学よりも都心に近い便利な場所にあったのです。しかも駅の北口に出ると、目の前にドンとPARCOが、そしてその隣には西友が!(注:イオンしかない田舎の町とはちょっと違うぞ)。そのPARCO・西友を横目に見ながら駅からまっすぐ300m行くと、突き当たりが電気通信大。近い、何とも近い。(注:蕨川駅~太東より近い!)

電通大は1学部しかない…なのに広い!

さっそく正門にいた守衛さんに学食の場所を聞き、まずは恒例の腹ごしらえ。キャンパス中央にある学生会館の2・3階が生協食堂とレストラン。2階の食堂の一番人気はゴロゴロカレー(315円)らしいが、昨夜CoCo1で7辛を食べて撃沈した私はカレーを食べる気になれず、「豚しゃぶ黒胡麻丼(363円)」に「味噌汁(31円)」をつけ、さらにリッチな社会人らしく「冷奴とほうれん草のおひたし(88円)」まで取っ



電気通信大の正門



生協食堂・レストランのある学生会館

て、計482円の昼食とあいなりました。昼前だったので、食堂はそれほど混んではおらず、窓側の席を陣取り優雅に食事を終えた後、キャンパスをしばし散歩することにしました…。電通大は1918年に無線通信士を養成するために創設された無線電信講習所を前身としており、1949年に国立大学となり(学部は電気通信学部のみ)、2010年には情報理工学部(4学科)に学部再編して現在に至ります。さて、このキャンパスが意外に広いのにびっくり。緑の木々が生い茂る中に、一般道路をはさんで東地区と西地区に分かれ、たくさんの建物があります。西地区にもひとつ食堂があり、そこには「新入生歓迎フェア日替わり250円!」という看板の文字が…こっちで食べれば良かった、と一瞬思ったのですが、その日は金曜日で、日替わりはなんと「カツカレー」。やっぱりこっちでなくて正解!と自分に言い聞かせたのでした。

やっぱり理工系女子はお得だ!

いよいよ説明会です。明るいキャラの(実は頭の方も明るい…)梶谷学長が挨拶。その中でいきなり「女子学生を受験させてください」と言うではありませんか。そのために、トイレを改修し、女子寮を造り、さらにUEC WOMANという広報誌まで作り、今年の入学生の女子比率は10%を突破(来年には20%にするのが目標)。さらに昨年より予約型奨学金制度を導入(男女10名ずつ、4年間で約260万円支給、昨年は26名の応募者全員が内定)し、その中から大学広報に協力してもらう5名の女子を選びさらに50万円を支給するというのです(…理系女子ってやっぱりお得ですね)。もちろん電通大のウリは女子学生支援だけではないそうです。徹底した基礎教育、大学院まで連携した専門教育、全国トップクラスの就職力、「楽力工房」という名の学生主体で行われる教育プログラム(大学が場所・資金を提供し、ロボットコンクールなどへの出場のために学科・学年に関係なく活動)等々…なかなか頑張っている印象を持ちました。

卒業生とケーキ食べながら懇談し、大学ブランドの土産を購入!

色々な説明を聞いた後、レストランに移動させられ、説明会参加高校の卒業生と懇談。私の教え子で、現在電通大2年のS君が来てくれており、しばらく彼と話をしました(卒業生がいない高校の先生はUEC WOMANの女子大生と話をしました…ちょっぴり羨ましい)。彼は大学まで自転車5分、家賃6万円のアパートで一人暮らし。テニスサークルに属し、将来は大学院進学を考えているとのこと。高3の夏まで電通大の存在を知らなかったというS君は、「母校の生徒でもちょっと頑張れば入れるお得な国立大学なので、是非後輩にも受験して欲しい」と言っていました。

S君との懇談の後、大学職員の案内でロボメカ工房(「楽力工房」の一つでオリジナルロボットを開発・製作し学外のコンテストに挑むサークル的活動)の様子と、UEC コミュニケーションミュージアムという通信機器の博物館を見学し、説明会の全日程が無事終了。さて、帰り際に息子への土産を物色するために生協へ。食いしん坊の息子に与える電通大ブランドの菓子はなさそう…、とその時目に飛び込んできたのがUECマーク入りのマフラータオル。人一倍汗かき人間のアイツにはこれしかないっ!と即座に購入したのでした…(実はこの土産が我が家の「大学ブランドマフラータオルコレクション」の始まりなのであった)。